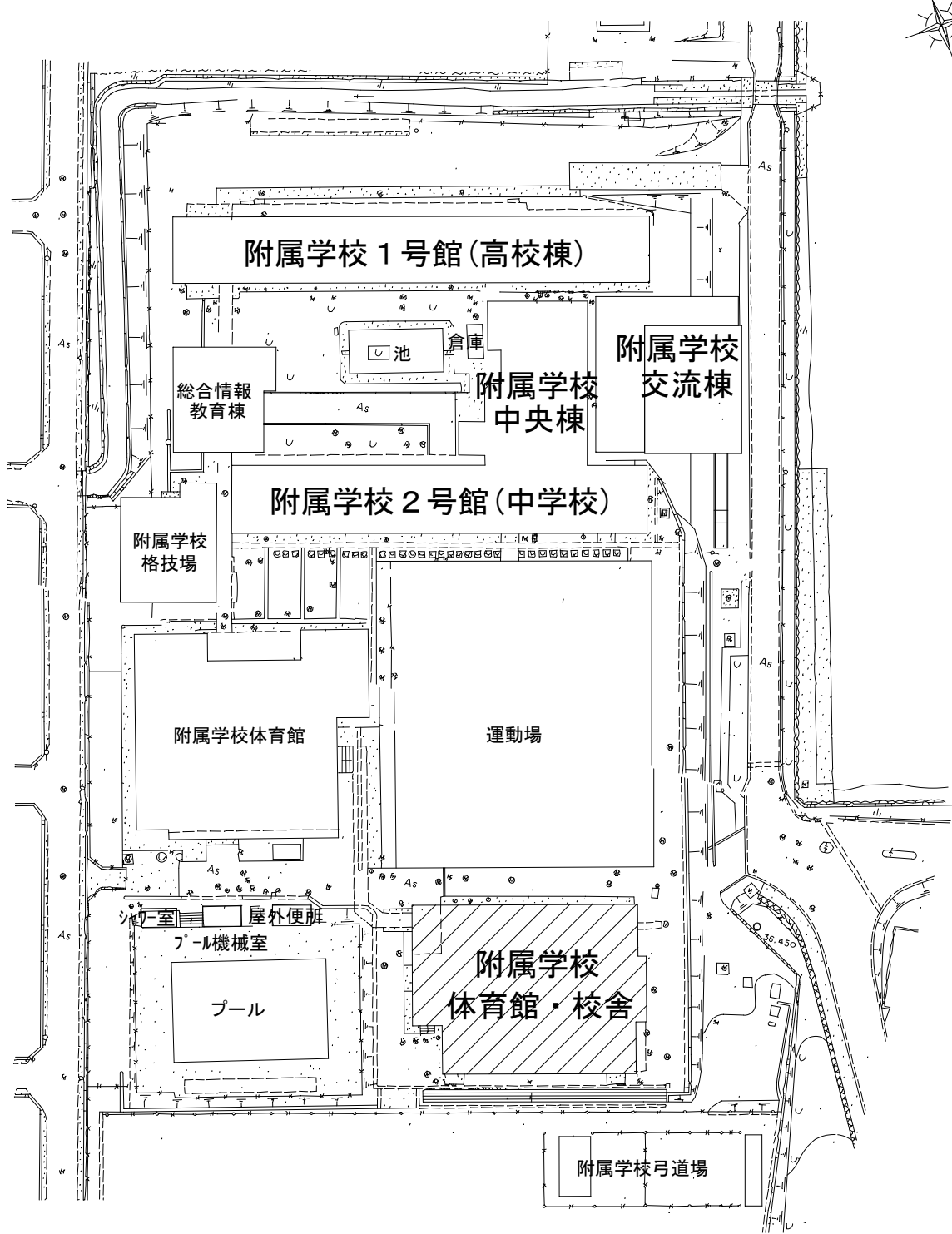


電 気 設 備 工 事 発 注 概 要 書

年	度	令和7年度			工 事 概 要	屋 内 設 備 工 事	防 犯 ・ 入 退 室	入 退 室 管 理 設 備	○	
工 事 名	名古屋大学(東山)附属学校体育館・校舎受変電設備改修工事			管 理 設 備			防 犯 設 備	○		
工 事 場 所	愛知県名古屋市千種区不老町 名古屋大学東山団地構内			火 災 報 知 設 備			自 動 火 災 報 知	○		
完 成 期 限	令和8年3月31日(火) ただし、財政法の定めによる繰越の承認を得た場合は、令和8年12月28日まで延長する予定である。						自 動 閉 鎖	○		
							非 常 警 報	○		
工 事 概 要	建 物 概 要	棟 名 称			附属学校体育館・校舎		ガ ス 漏 れ 火 災 警 報	○		
		工 事 種 別		模様替		中 央 監 視 制 御 設 備	●			
		構 造 ・ 階 数		RS2		発 生 材 処 理	●			
		建 築 面 積		923		屋 外 事 設 備 工	構 内 配 電 線 路	○		
		延 面 積		1,723			構 内 通 信 線 路	○		
		改 修 延 面 積		49			発 生 材 処 理	○		
							テ レ ビ 電 波 障 害 防 除	○		
		屋 内 設 備 工 事	電 灯 設 備	電 灯 幹 線	○	そ の 他	別 図 に よ る  ・●印の付いたものが対象工事項目  ・工事の施工については、下記を遵守すること。  1)停電作業の日程については原則、土曜日、日曜日、祝日とし、監督職員との協議により決定とする。  2)停電期間中は、本学が指定する設備機器等に仮設電源を供給すること。  なお、仮設電源の供給に要する仮設発電機(燃料含む)は、本工事において用意するものとする。  3)本工事が本学行事(定期試験等)の支障となる場合は本学行事を優先すること。  ・本工事における準備・製作期間においては、主任技術者等の専任を要しない。			
				電 灯 分 岐	○					
				動 力 設 備	コ ン セ ント 分 岐					○
			動 力 幹 線		○					
			雷 保 護 設 備	動 力 分 岐	○					
					○					
			受 変 電 設 備		●					
			電 力 貯 蔵 設 備	直 流 電 源	○					
				交 流 無 停 電 電 源	○					
			発 電 設 備	自 家 発 電	○					
				太 陽 光 発 電	○					
			構内情報通信網設備		○					
			構 内 交 換 設 備		○					
			情 報 表 示 設 備	出 退 情 報 表 示 設 備	○					
				電 気 時 計 設 備	○					
			映 像 ・ 音 響 設 備	映 像 設 備	○					
				音 響 設 備	○					
拡 声 設 備			○							
誘 導 支 援 設 備			イ ン ター ホ ン 設 備	○						
	ト イ レ 等 呼 出 設 備	○								
テレビ共同受信設備		○								
監 視 カ メ ラ 設 備		○								

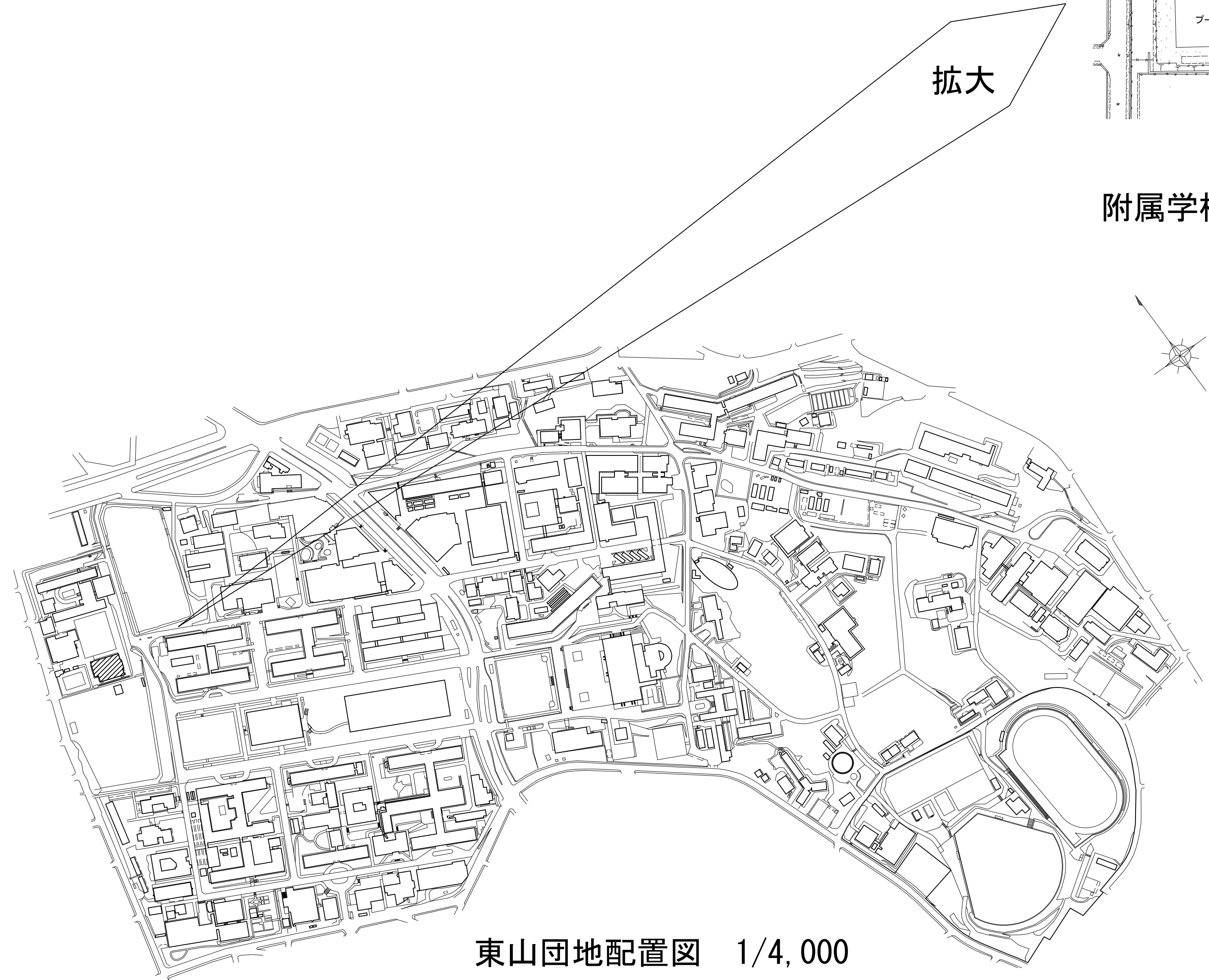
案内図 NS



附属学校配置図 1/1,000

本工事対象建物

東山団地配置図 1/4,000



本工事対象建物

	課長	工事名 名古屋大学（東山）附属学校体育館・校舎受変電設備改修工事	図面名称 案内図・東山団地配置図・附属学校配置図	図面番号 E-
		東海国立大学機構 施設統括部	縮尺 (A1) 1/1,000, 1/4,000 (A3) 1/2,000, 1/8,000	令和7年度





1

単線結線図（改修後）

記号

名称

備考

VCB

真空遮断器

LBS

高压负荷开闭器

P F 付 相间バリ付

PF

高压限流ヒューズ

TR

鉄心改良型高効率変圧器

油入式

ZPD

零相電圧継電器

IC

過電流継電器

OCR 静止形

VT

計器用変圧器

CT

変流器

ZCT

零相変流器

F

ヒューズ

CH

ケーブルヘッド

V

電圧計

電子式

VS

電圧計切換スイッチ

MDA

デマンド電流計

電子式

AS

電流計切換スイッチ

W

電力計

電子式

COSφ

力率計

電子式

EL

漏電継電器

工事内容

1. 受変電設備の新設

2. 接地端子盤の新設

3. 既設ケーブルとの再接続

4. その他受変電設備改修工事に関わる作業

記号

中央監視項目

●

状態表示（本体メカニカル信号）

△

故障表示（警報）

□

計測（1 kWh / p）

■

計測（A）

特記事項

1. 高压引込盤と高压受電盤は、キュービクル方式とし、低压配電盤はオープン方式とする。

2. 下記の変圧器は、トップラナー変圧器 2026 (2026年度 省エネ基準適合品)に準拠とし、負荷率40%時の全損失が以下の超高効率アモルファスとする。  
1相210-105V 150kVA：全損失284w  
3相210V 300kVA：全損失564w

3. 変圧器には、防振ゴム付(耐震ストッパ内蔵)を施すこと。

4. 変圧器はダイヤル温度計付とする。

5. VCBは電動バネ操作(低サージ)とする。

6. LBSは手動式とし相间絶縁バリア付とし、警報接点付とする。

7. 低压配電盤用配線遮断器の2次側は端子台付とし将来接続が容易な構造とする。

8. 表示灯ランプは全てLEDとする。

9. 電子計測器は待機電力及び自動消灯機能付とする。

10. 下記の予備品を納入すること。  
・操作棒（各1本）  
・電力用ヒューズ(実装数の100%)  
・リフター

11. 高压配電系統上位にある遮断器と保護協調が取れており、同一高压ループ幹線に接続されている既存電気室において、停電事故が生じた場合でも主幹線の電源が焼失しないこと。

12. CTT及びVTT端子は盤前面に取付けること。

13. 低压配電盤スペースには、フランクカバー付とする。

14. LBSヒューズ断及びトランス温度上昇は、MCCB盤に警報表示を行う。

15. ▲印の警報は現場盤には個々に表示する。

16. 外部扉内側付近に機器配置図等を貼付のこと。

17. OCRは瞬時要素、時限要素のどちらで動作したか容易に判別できる様に表示を設けること。

18. 電力量計は、1kwh/1パルスとすること。

19. 高压盤の保護継電器とマルチメータは各々の装置として実装すること。

20. 盤の内部にメンテナンス用照明を設置し、前面扉の開閉により筐体毎に点滅すること。

21. 導体接続部にはサーモラベル(可逆、不可逆)を各相毎に取り付けること。

22. 高压引込用VCB 2台と受電用VCB 1台は操作電源用VTより供給すること。

23. 変電設備設置届出書の提出時に受変電設備の保護協調曲線、計算書を作成し提出すること。

24. キュービクル内には、東山ループ単線結線図、受変電単線結線図、機器配置図を保護カバー(A3サイズ)で貼付すること。

25. 変電設備は名古屋市火災予防条例第14条に適合すること。

26. 非常電源の配線用遮断器は、耐鋼板で区画（防火区画）し、「非常電源」と表記すること。

27. 停電期間中、仮設電源が必要な機器は下記の通りとする。  
参考発電機容量[kVA]

【附属学校1号館】 4階家庭科室 ・冷蔵庫 :2.5kVA×1台  
【附属学校交流棟】 1階生物教室 ・恒温器 :2.5kVA×1台  
停電に対する燃料、ケーブルの接続を見込むこと。  
仮設発電機は超低騒音型とすること。

28. 低压動力盤No.2は、非常電源専用受電設備としているため、  
(配線用遮断器の定格電流の合計) < (変圧器二次側定格電流) × 2.14の条件を満たすこと  
  
(配電用遮断器の定格電流の合計) = 1,355[A]  
(変圧器二次側定格電流の合計) = 824.786[A] → 824.786×2.14≒1.765[A]

363W 6600V 60Hz

南陽厚生会館

363W 6600V 60Hz

航空・機械実験棟

① 高压引込盤・饋電盤

② 高压受電盤

③ 低压電灯盤

④ 低压動力盤（1）

⑤ 低压動力盤（2）

⑥ 非常電灯盤・切替盤

⑦ 非常動力盤（既設）

⑧ 非常動力盤（既設）

⑧ 非常動力盤（既設）

課長

工事名 名古屋大学（東山）附属学校体育館・校舎受変電設備改修工事

図面名称 単線結線図（改修後）

縮尺 (A1) -  
(A3) -

図面番号 E-

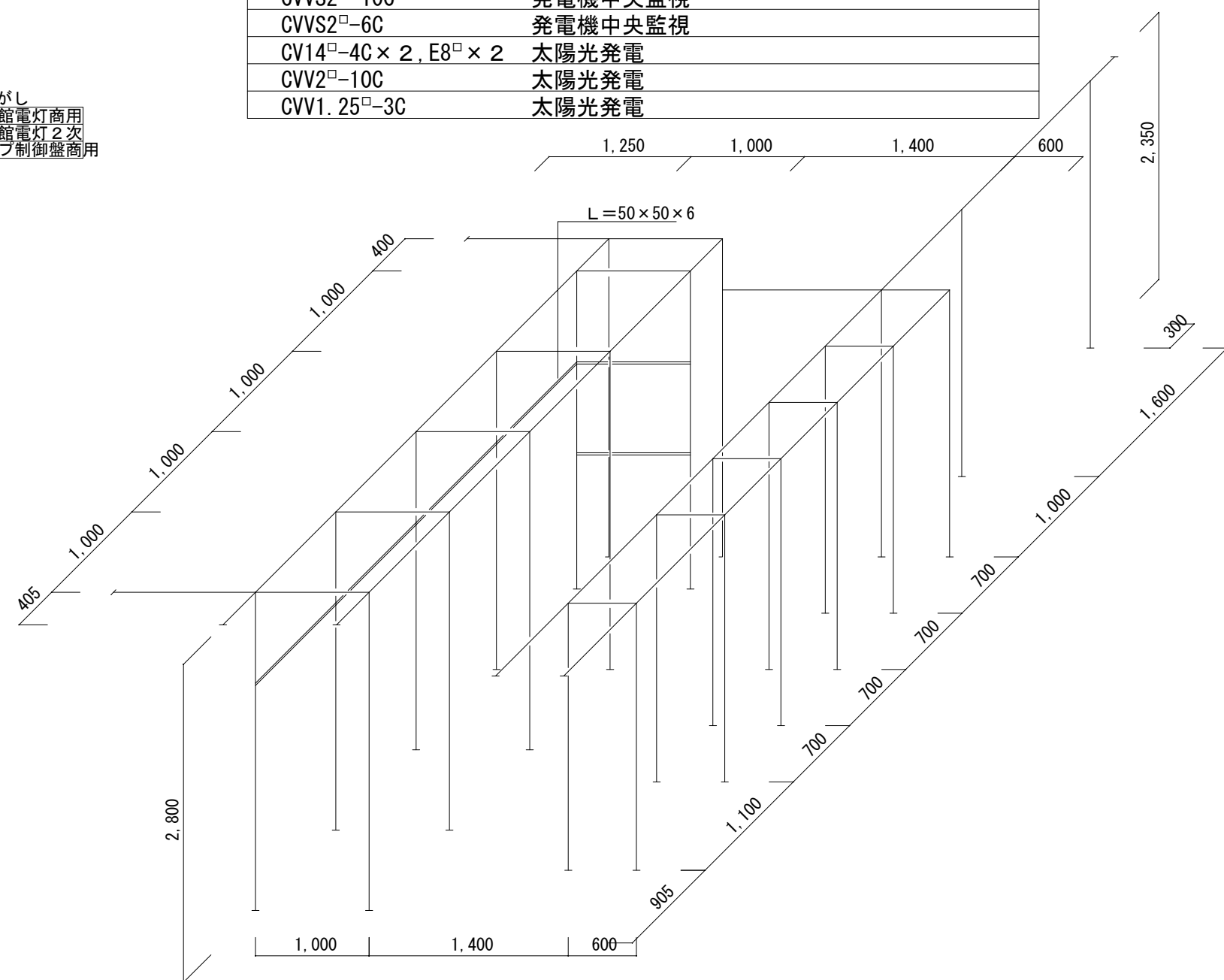
令和7年度

東海国立大学機構 施設統括部

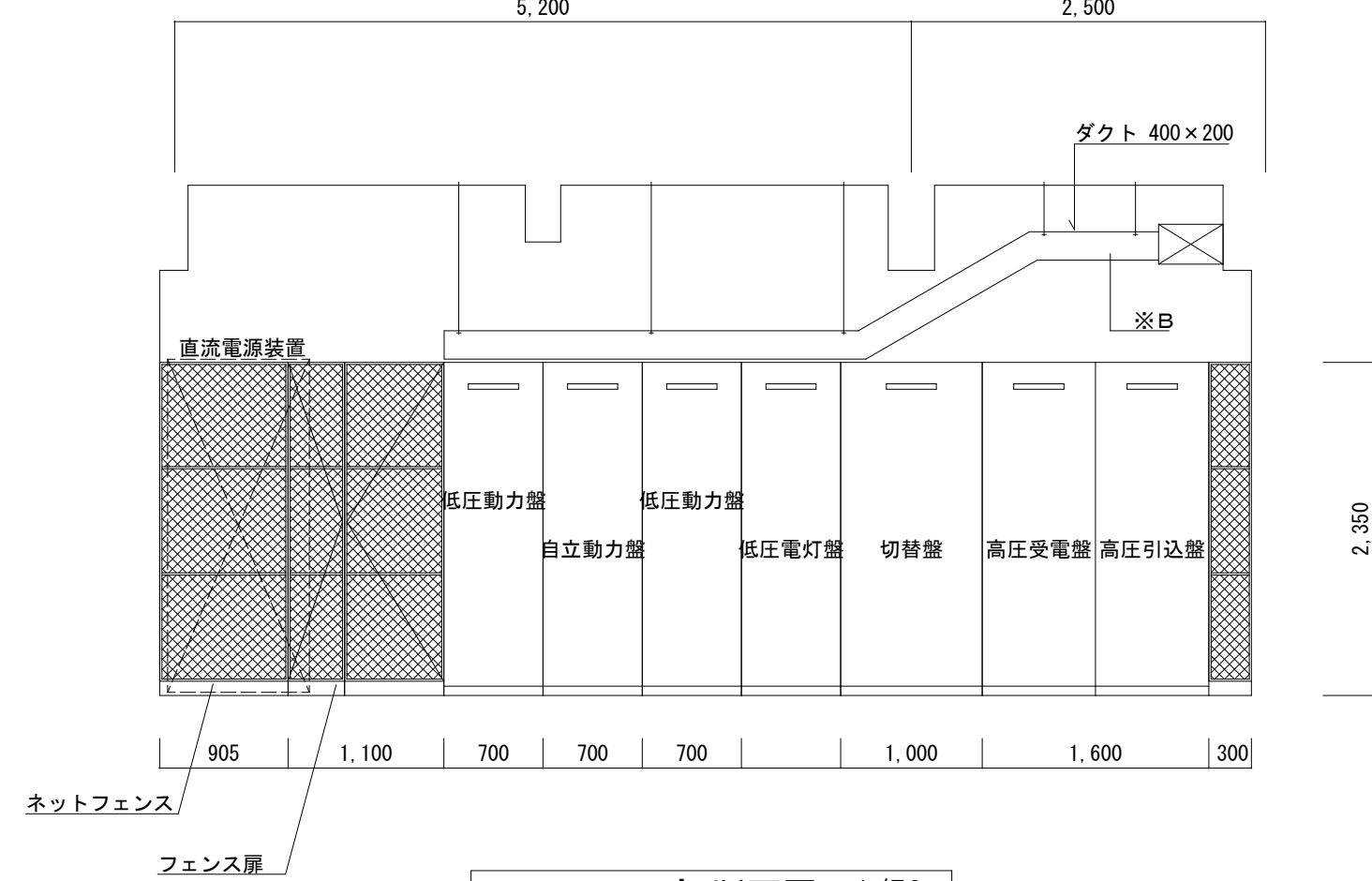
電気室平面図 1/50

フレームパイプはSGP(白)52A  
 接地線はビット内、フレームパイプにそわせて配線  
 ネットフェンスはクリンパ金網2.6mmφ×30mm  
 高圧引き下げはPDC14sq  
 変圧器の前面、後面及び側面に透明アクリル保護板を取り付け

※	Ａ	ビット内ころがし
	EM-CET150 <sup>□</sup>	電灯 附属学校 1号館(高校棟)(1)
	EM-CET150 <sup>□</sup>	電灯 総合情報教育棟
	EM-CET150 <sup>□</sup>	電灯 (G) 第一体育館
	CVT38 <sup>□</sup>	電灯 武道場
	EM-FPC8 <sup>□</sup> -2C	電灯 自火報電源
	EM-CET200 <sup>□</sup>	電灯 附属学校 2号館(中学校)
	EM-CET150 <sup>□</sup>	電灯 附属学校 3号館
	EM-CET150 <sup>□</sup>	電灯 附属学校 1号館(高校棟)(2)
	EM-CET22 <sup>□</sup>	電灯 (G) 附属学校 2号館(中学校) 2CL
	EM-CET22 <sup>□</sup>	電灯 (G) 附属学校 2号館(中学校) 2AL-2
	EM-CET150 <sup>□</sup>	動力 附属学校 2号館(中学校) 空調動力等(1)
	EM-CET150 <sup>□</sup>	動力 附属学校 2号館(中学校) 空調動力等(2)
	EM-CET150 <sup>□</sup>	動力 附属学校 3号館空調動力等
	EM-CET22 <sup>□</sup>	電灯 総合情報教育棟
	EM-CET200 <sup>□</sup>	動力 附属学校 1号館(高校棟) 空調動力等(1)
	EM-CET200 <sup>□</sup>	動力 附属学校 1号館(高校棟) 空調動力等(2)
	EM-CET22 <sup>□</sup>	動力 (G) 附属学校 2号館(中学校) 2CP
	EM-CET250 <sup>□</sup> × 2	発電機 2次 動力 (G) ボンプ制御室 1次
	EM-CET14 <sup>□</sup> , E <sup>□</sup> 22	(G) 発電機(充電用)
	CVV2 <sup>□</sup> -30C	ボンプ中央監視
	CVVS2 <sup>□</sup> -10C	発電機中央監視
	CVVS2 <sup>□</sup> -6C	発電機中央監視
	CV14 <sup>□</sup> -4C × 2, E8 <sup>□</sup> × 2	太陽光発電
	CVV2 <sup>□</sup> -10C	太陽光発電
	CVV1. 25 <sup>□</sup> -3C	太陽光発電



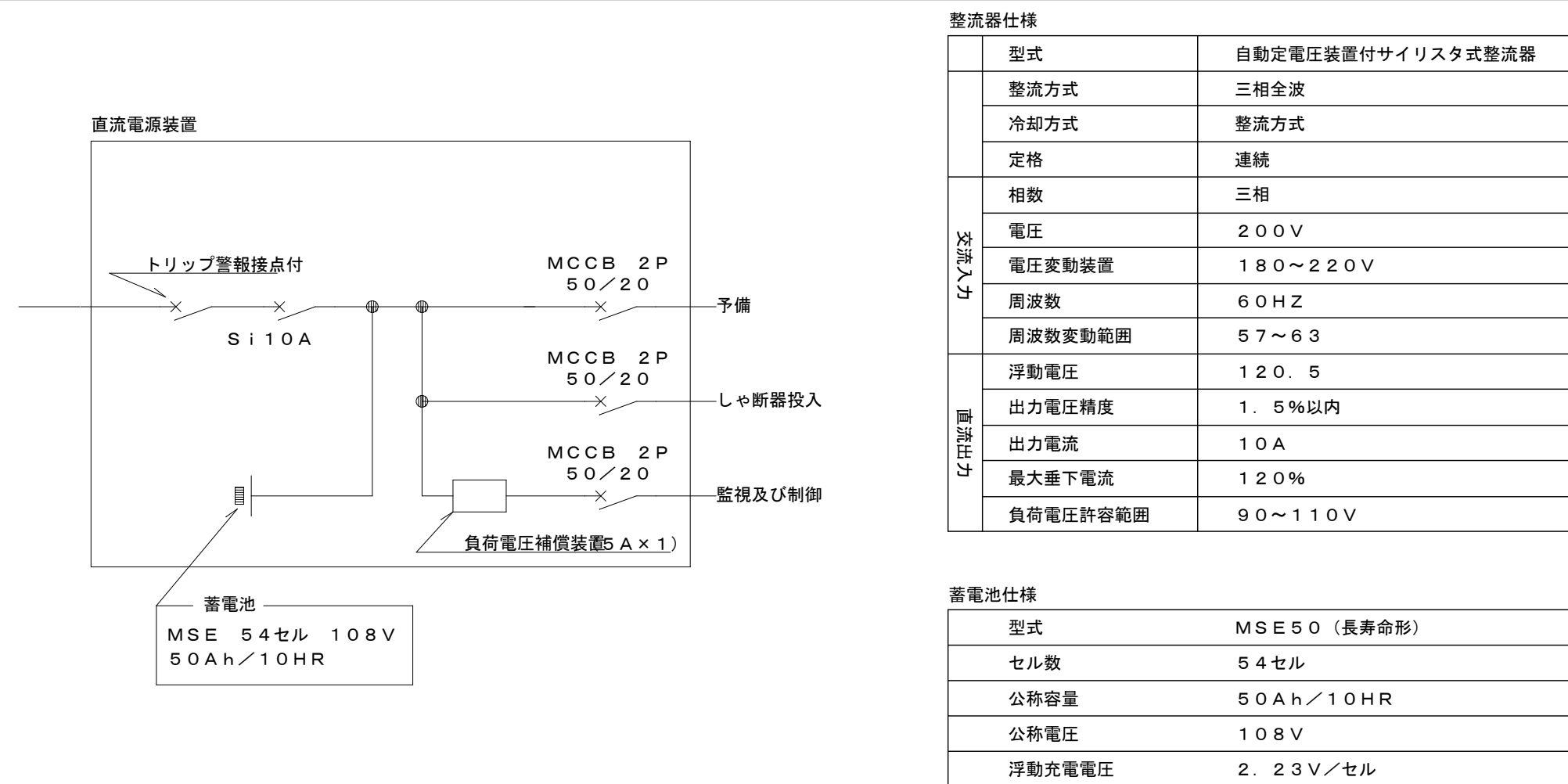
フレーム組立図 1/50



口 — 口' 断面图 1/50

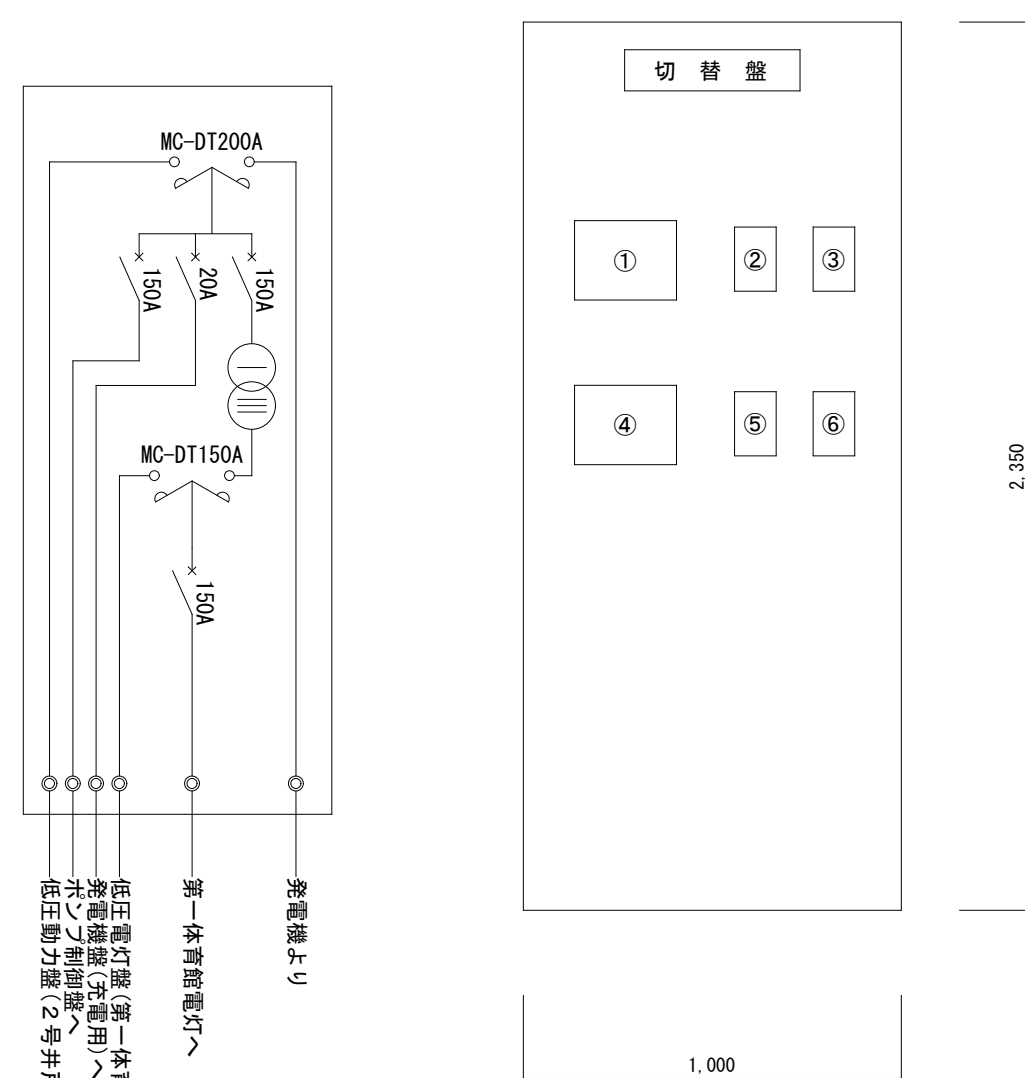
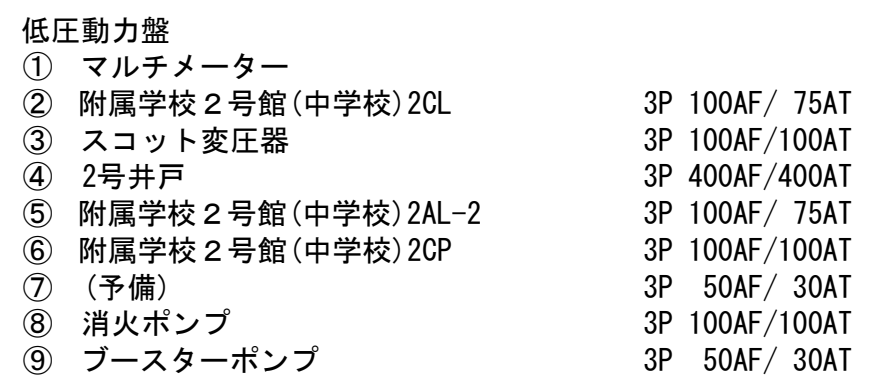
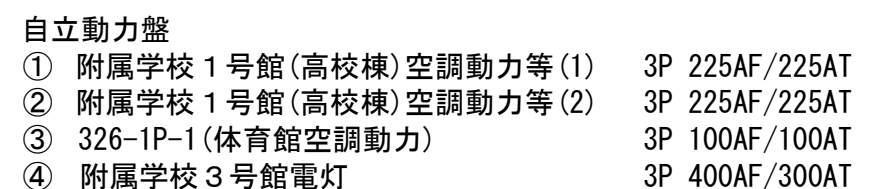
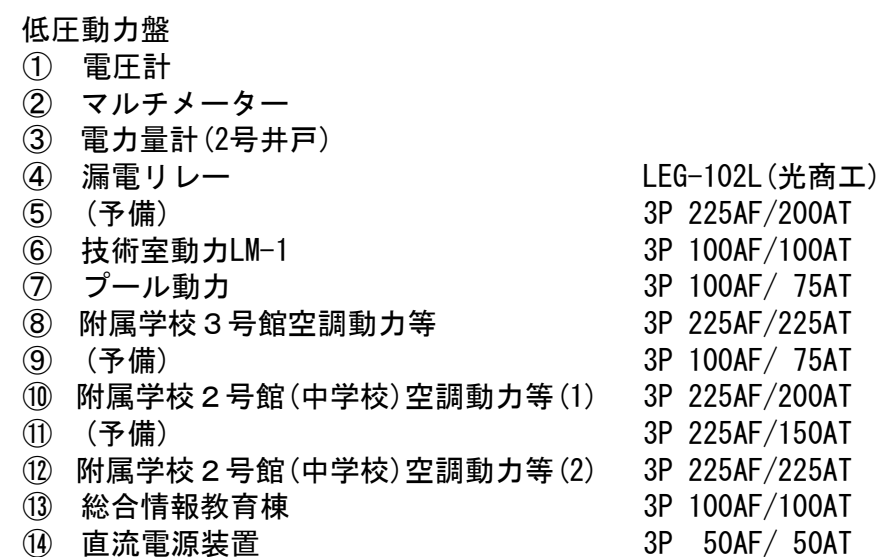
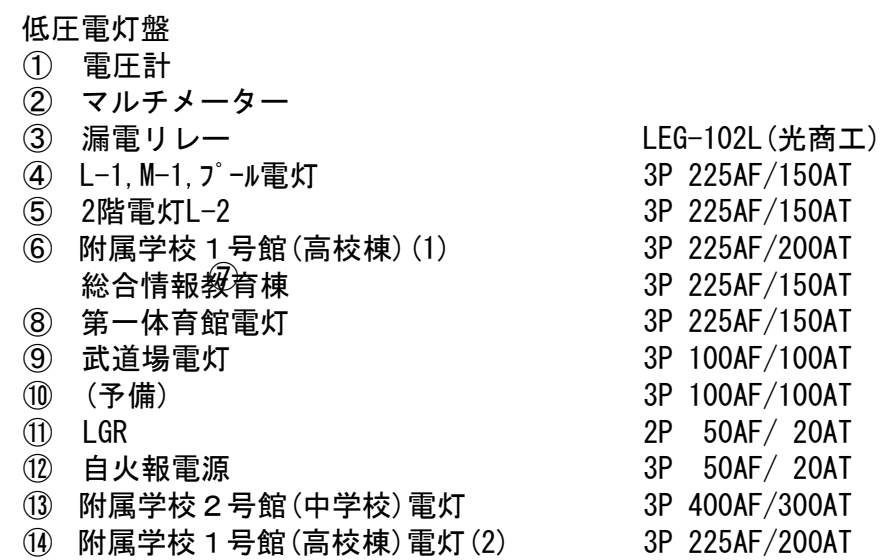
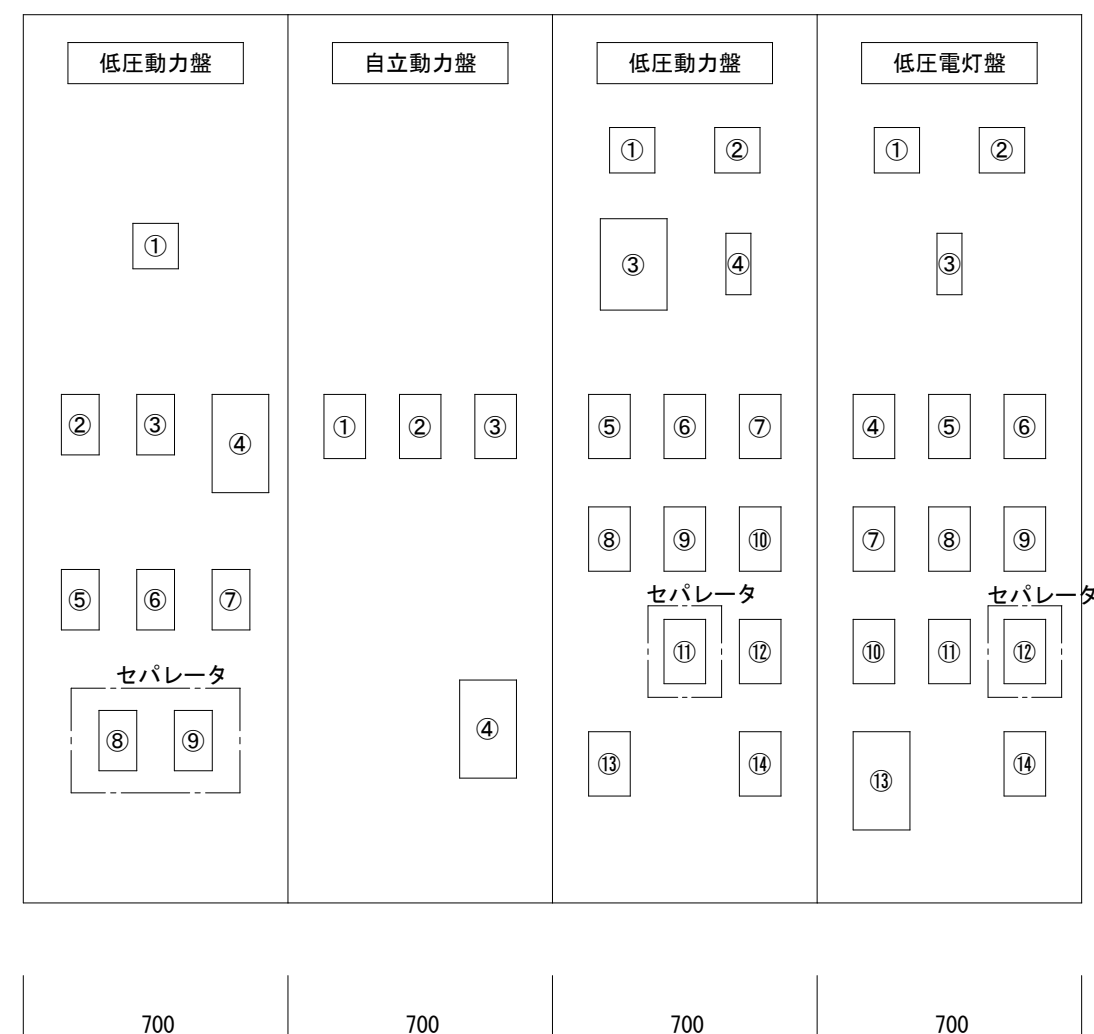
※B. 配線ダクト内ころがし

CVT60 <sup>□</sup>	電灯	1-1, M-1, プール電灯
CVT60 <sup>□</sup>	電灯	2F電灯 1-2
CVT100 <sup>□</sup>	動力	技術室動力 LM-1
CVT14 <sup>□</sup>	動力	プール動力
EM-CE138 <sup>□</sup>	動力	326-1P-1 (体育館空調)
EM-FPC22 <sup>□</sup> -3C	動力	消火ポンプ
EM-FPC65, 5 <sup>□</sup> -3C	動力	ブースターポンプ
E-38	D種	アース
E-22 x 2	体育館空調D種	ELC8種



整流器仕様	
	型式 自動定電圧装置付サイリスタ式整流器
	整流方式 三相全波
	冷却方式 整流方式
	定格 連続
交流入力	相数 三相
	電圧 200 V
	電圧変動装置 180 ~ 220 V
	周波数 60 Hz
	周波数変動範囲 57 ~ 63
直流出力	浮動電圧 120 . 5
	出力電圧精度 1 . 5%以内
	出力電流 10 A
	最大垂下電流 120 %
	負荷電圧許容範囲 90 ~ 110 V

蓄電池仕様	
型式	MS E 5 0 (長寿命形)
セル数	5 4セル
公称容量	5 0 A h / 1 0 H R
公称電圧	1 0 8 V
浮動充電電圧	2 . 2 3 V / セル



課長	工事名 名古屋大学（東山）附属学校体育館・校舎受変電設備改修工事	図面名称 受変電設備 電気室平面図（改修前）	図面番号 E-
	東海国立大学機構 施設統括部	縮尺 (A1) 1/50 (A3) 1/100	令和7年度